



日本経済（月次）予測（2025年12月）

内容に関するお問い合わせは下記まで
e-mail: contact@apir.or.jp

ポイント

◆ 12月発表データのレビュー

▶今回の予測では、12月末までに発表されたデータを更新した。家計消費関連、公共工事、及び国際収支状況を除けば、10-12月期 GDP 推計に必要な基礎月次データの約 2/3 が更新された。

▶12月 8 日発表の 7-9 月期 GDP2 次速報によれば、実質 GDP 成長率は前期比年率 -2.3% となり、6 四半期ぶりのマイナス成長。1 次速報(同 -1.8%)から下方修正された。

▶11 月の生産指数は前月比 -2.6% と 3 カ月ぶりのマイナス。結果、10-11 月平均は 7-9 月平均比 +1.4% 上昇した。経産省は基調判断を「一進一退」と前月から据置いた。

▶10-11 月平均を 7-9 月平均と比較すれば、消費財出荷指数は +1.1%、建築工事費予定額は +6.7%、資本財出荷指数は +4.0% といずれも上昇した。10-12 月期の実質民間需要は前期から増加の可能性が高い。

▶10-11 月平均の輸出入動向(日銀ベース)を 7-9 月平均と比較すれば、実質輸出額は +1.4% 増加し、実質輸入額は -1.5% 減少した。10-11 月の実質財貨純輸出は実質 GDP 成長率に大幅プラス寄与となった。

◆ 10-12 月期実質 GDP 成長率予測の動態

▶最新のデータを更新の結果、CQM(支出サイド)は、10-12 月期の実質 GDP 成長率を前期比年率 +3.8% とプラス成長を予測した。前回の予測(+3.6%)から小幅の上方修正。一方、生産サイド(主成分分析モデル)は、同 +1.1% と予測。結果、両モデルの平均予測は同 +2.4% となり、同期はプラス成長の可能性が高い(図表 1 参照)。12 月の市場コンセンサスは同 +0.84% と低めの予測である。

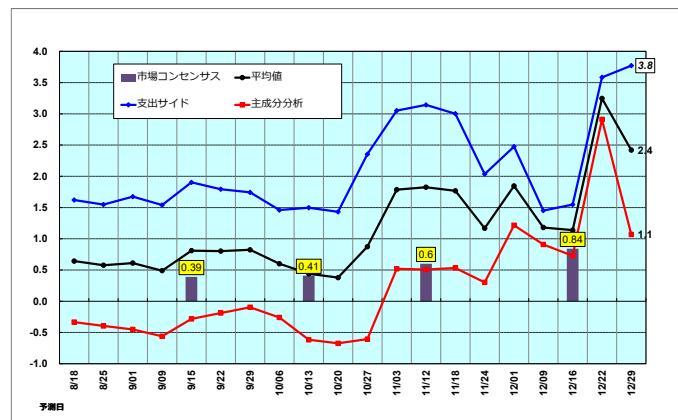
◆ 10-12 月期インフレ予測の動態

▶11 月の全国消費者物価コア指数(除く生鮮食品)は前年同月比 +3.0% と 51 カ月連続の上昇で、インフレ率は 2 カ月連続の 3% 台に戻った。

▶今回の CQM は、10-12 月期の民間最終消費支出デフレータを前期比 +0.7%、国内需要デフレータを同 +0.6% と予測。同期の交易条件は改善するため、ヘッドライン(GDP デフレータ)インフレ率を同 +1.0% と予測する(図表 2 参照)。

図表 1 CQM 予測の動態：実質 GDP 成長率

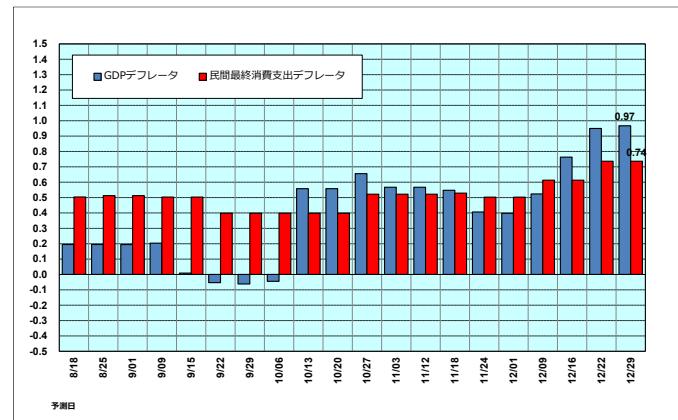
2025 年 10-12 月期 (%, 前期比年率)



出所：筆者作成

図表 2 CQM 予測の動態：インフレーション

2025 年 10-12 月期 (%, 前期比)



出所：筆者作成

本予測はペンシルバニア大学クライン名誉教授によって開発された超短期モデル (Current Quarter Model) のアイデアを日本経済に適用したものである。本予測システムでは、毎週発表されたデータの景気への影響を調べることができる。予測は支出サイド、生産サイド(主成分分析)の 2 つのモデルを用いて行われ、前者の予測値を主要系列とし、後者の予測値と両モデルの予測平均値を参考系列としている。

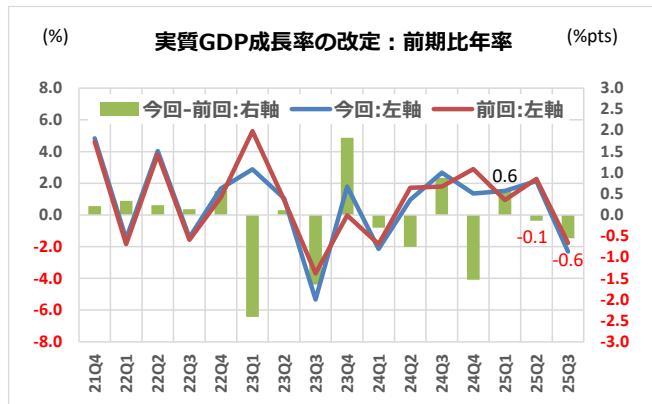
<12月末までのデータを更新し、10-12月期の実質 GDP 成長率を前期比年率+3.8%と予測>

1. 7-9月期実質 GDP2 次速報

[2次速報と1次速報の比較]

12月8日発表の7-9月期 GDP2 次速報によれば、実質 GDP 成長率は前期比-0.6%、同年率-2.3%、6四半期ぶりのマイナス成長となった。1次速報(前期比-0.4%、同年率-1.8%)から下方修正された。結果、CQM 予測(前期比-0.7%、同年率-2.8%)に近づいた(後継図表 4 参照)。

図表 3 実質 GDP 成長率の改定



出所：筆者作成

季節調整の掛け直しや基礎統計の改定により、過去値が遡及改定された。実質 GDP 成長率を 2 次速報と 1 次速報で比較すると、2024 年 10-12 月期は-1.5% ポイント下方修正(+2.9% → +1.4%)、25 年 1-3 月期は+0.6% ポイント(+0.9% → +1.5%)上方修正された。4-6 月期-0.1% ポイント(+2.3% → +2.1%)、7-9 月期-0.6% ポイント(-1.8% → -2.3%)、いずれも下方修正された(図表 3)。このため、2024 年度の成長率は+0.5% と 1 次速報(+0.6%)から小幅下方修正された。

2 次速報の GDP 項目をみれば、国内需要では民間最終消費支出(前期比+0.1%→同+0.2%)、民間住宅(同-9.4%→同-8.2%)が 1 次速報から上方修正された。法人企業統計の結果をうけ、民間在庫変動(同-0.2% ポイント→同-0.1% ポイント)が上方修正された一方、民間企業設備(同+1.0%→同-0.2%)は下方修正された。また公的固定資本形成(同+0.1%→同-1.1%)や政府最終消費支出(同+0.5%→同+0.2%)も下方修正された。結果、国内需要(同-0.2%→同-0.4%)は下方修正された。

財貨・サービスの輸出(前期比-1.2%→同-1.2%)、輸入(同-0.1%→同-0.4%)ともに大きな変化はなかったため、純輸出(前期比-0.2% ポイント→同-0.2% ポイント)に変化がなかつ

た。

GDP デフレータは上方修正(前期比+0.6%→同+0.5%)された(図表 4)。

図表 4 7-9月期実質 GDP 成長率の比較：予測、1-2 次速報

2025年7-9月期	予測	前期比: %		差
		1次速報	2次速報	
国内総生産/国内総支出	-0.7	-0.4	-0.6	-0.1
民間最終消費支出	0.4	0.1	0.2	0.1
民間住宅	-6.5	-9.4	-8.2	1.2
民間企業設備	-0.6	1.0	-0.2	-1.2
民間在庫変動 (*)	-0.2	-0.2	-0.1	0.1
政府最終消費支出	-0.1	0.5	0.2	-0.4
公的固定資本形成	-0.7	0.1	-1.1	-1.2
公的在庫変動 (*)	0.0	0.0	0.0	0.0
純輸出 (*)	-0.3	-0.2	-0.2	0.0
財貨・サービスの輸出	-1.9	-1.2	-1.2	-0.1
財貨・サービスの輸入	-0.5	-0.1	-0.4	-0.3
GDP デフレータ	0.2	0.6	0.5	0.0
国内需要	-0.4	-0.2	-0.4	-0.2
民間需要	-0.5	-0.4	-0.5	-0.1
公的需要	0.0	0.5	0.0	-0.5

*印は寄与度

出所：筆者作成

[今回の改定のポイント】

今回の 2 次速報値公表に際して、通常の 1 次速報から 2 次速報への改定に加え、24 年度の速報値が年次推計値に変更された。更に 2020 年基準の「基準改定」が実施された。これは、主要な最新の構造統計を基準として取り込み、過去の計数を再推計するものである。

今回の改定にあたって、主な改定要因及び推計方法の変更点は以下の通り。主な改定要因については、(1)ソフトウェア投資の改定、(2)不動産仲介手数料(投資)の改定、(3)建設投資の改定、(4)住宅賃貸料(消費)の改定である。またアウトプット型建設デフレータの実装という推計方法の変更が行われた。結果、2024 年度の名目 GDP の水準は 624.4 兆円と、1 次速報の 615.5 兆円から 26.9 兆円(+4.4%)上方修正された。また、足下の 25 年 7-9 月期の名目 GDP(年率換算季節調整値)は 29.2 兆円(635.8 兆円→665.0 兆円)上方修正された。

2. 12月発表データのレビュー

今回の予測では、12 月末までに発表されたデータを更新した。家計消費関連、公共工事、及び国際収支状況を除けば、10-12 月期 GDP 推計に必要な基礎月次データの約 2/3 が更新された(後継図表 6 参照)。

2-1. 生産・労働関連指標

経済産業省の鉱工業指数の動向(速報)によれば、11月の生産指数(季節調整値: 2020=100)は前月比-2.6%と3カ月ぶりのマイナス。結果、10-11月平均は7-9月平均比+1.4%上昇した(7-9月期: 前期比+0.1%)。経産省は11月の生産の基調判断を「一進一退」と前月から据置いた。

総務省によれば、11月の完全失業率(季節調整値)は前月差0.0%ポイントの2.6%となった。3カ月連続の横ばいである。結果、10-11月平均は7-9月平均差+0.1%ポイント上昇した(7-9月期: 前期差+0.0%ポイント)。11月の就業者数(季節調整値)は前月差+5万人と3カ月連続で増加。また雇用者数(季節調整値)は同+20万人と3カ月連続の増加となった。10-11月平均を7-9月平均と比較すると、就業者は+24万人(7-9月期: 前期差+1万人)、雇用者数は+24万人(7-9月期: 前期差+5万人)となった。10-11月の労働市場は前期(7-9月期)から回復傾向にある。また11月の就業率(15歳以上人口に占める就業者の割合、原系列)は62.5%と前年同月差+0.5%ポイント上昇した(45カ月連続)。

厚生労働省の毎月勤労統計調査(確報、調査産業計、事業所規模5人以上)によれば、10月の現金給与総額は前年同月比+2.5%と46カ月連続のプラス。速報(同+2.6%)から小幅の下方修正。現金給与総額を消費者物価総合指数で除した実質現金給与総額は同-0.5%と3カ月連続のマイナスとなり、速報(同-0.4%)から小幅下方修正された。

2-2. 内需関連指標

経済産業省の鉱工業指数の動向(速報)によれば、消費財出荷指数は前月比-4.8%と3カ月ぶりのマイナス。10-11月平均は7-9月平均比+1.1%上昇した(7-9月期: 同-2.6%)。経済産業省の商業動態統計(速報)によれば、11月の小売業販売額は前年同月比+1.0%と3カ月連続の増加となった。季節調整値は前月比+0.6%と3カ月連続の増加。経産省は小売業の基調判断を前月の「弱含み」から「一進一退」に上方修正した。結果、10-11月平均は7-9月平均+1.3%増加した(7-9月期: 前期比-1.8%)。

国土交通省の建築着工統計によれば、GDPベースの民間住宅投資をよく説明する建築工事費予定額(居住用+0.7*居住産業併用)は、11月に前年同月比-6.2%と2カ月ぶりの減少となった。結果、10-11月平均は7-9月平均比+6.7%増加した(7-9月期: 前期比+19.3%)。

経済産業省の鉱工業指数の動向(速報)によれば、11月の資本財指数は前月比+0.3%と4カ月連続のプラス。10-11月平均は7-9月平均比+4.0%上昇した(7-9月期: 前期比-4.6%)。

国土交通省の建設総合統計(出来高ベース)によれば、10月の公共工事は前年同月比+0.3%小幅増加。17カ月連続のプラスだが、2カ月連続でほぼ横ばいとなった(前月: 同+0.0%)。季節調整値(筆者推計)は前月比-0.1%と3カ月連続の減少。結果、10月は7-9月平均比-2.5%減少した(7-9月期: 前期比-0.3%)。建設工事費デフレータの上昇を考慮すれば、実質ベースも減少の可能性が高い。

2-3. 物価関連指標

総務省によれば、11月の全国消費者物価総合指数(2020年平均=100)は前年同月比+2.9%と51カ月連続の上昇。コア指数(除く生鮮食品)は同+3.0%と51カ月連続の上昇で、インフレ率は2カ月連続の3%台に戻った。コアコア指数(除く生鮮食品及びエネルギー)は同+3.0%と44カ月連続の上昇。

11月総合指数(前年同月比+2.9%)の品目別動向をみると、エネルギーは同+2.5%と3カ月連続の上昇。寄与度は+0.19%。うち、電気代は同+4.9%と3カ月連続で上昇した。寄与度は+0.17%。都市ガス代は同+0.9%と3カ月連続で上昇した。寄与度は+0.01%。政府が実施した電気・ガス料金の補助が10月請求分までだが、24年は11月請求分までだった影響が出たようである。ガソリンは同-0.9%と4カ月ぶりに低下した。寄与度は-0.02%。

非エネルギーは前年同月比+3.0%と44カ月連続の上昇。寄与度は+2.71%となった。うち、生鮮食品を除く食料は同+7.0%となり、53カ月連続の上昇。インフレ率は4カ月連続で前月から減速した。寄与度は+1.69%。うち、米類が同+37.1%と36カ月の上昇だが、6カ月連続で減速した。寄与度は+0.34%。

財・サービス分類でみれば、財は前年同月比+4.0%と55カ月連続の上昇となった。寄与度は+2.17%。サービスは同+1.6%と40カ月連続の上昇となった。寄与度は+0.73%。サービス支出関連では、宿泊料は同+9.2%と32カ月連続の上昇。寄与度は+0.11%。通信料は同+14.5%と12カ月連続の上昇。寄与度は+0.19%。

2-4. 貿易関連指標

財務省発表の貿易統計(速報)によると、11月の貿易収支は5カ月ぶりの黒字となり、収支は前年同月差+4,430億円拡大し

た。季節調整値は2カ月連続の黒字で、黒字幅は前月比-15.0%縮小した。結果、10-11月平均の貿易収支は7-9月平均差2,709億円改善した(7-9月期:前期比-18.9%)。

11月の輸出額(季節調整値)は前月比+3.4%、4カ月連続の増加。輸入額(季節調整値)は同+3.5%、2カ月ぶりの増加となった。10-11月平均を7-9月平均と比較すると、輸出は+3.4%(7-9月期:前期比+0.4%)、輸入は+0.4%(7-9月期:前期比-0.2%)、それぞれ増加した。

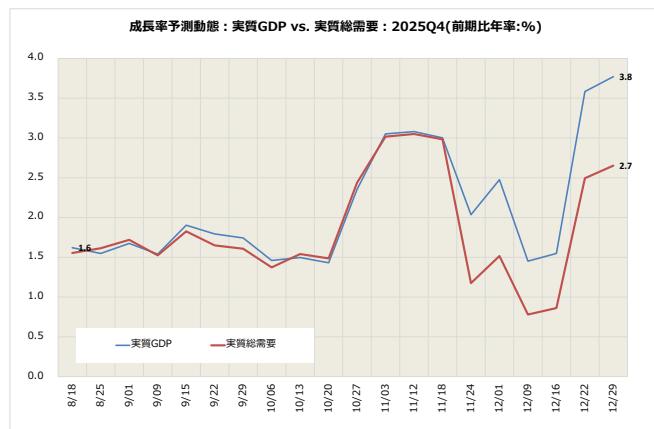
実質ベース(日本銀行、季節調整値)でみれば、11月の実質輸出額(2020年平均=100)は前月比+6.6%と2カ月ぶりの増加。実質輸入額(2020年平均=100)は同+2.0%と2カ月ぶりの増加となった。10-11月平均を7-9月平均と比較すれば、実質輸出額は+1.4%(7-9月期:前期比-1.4%)増加し、実質輸入額は-1.5%(7-9月期:-1.0%)減少した。10-11月の実質財貨純輸出は実質GDP成長率に大幅プラス寄与となった。

3. 10-12月期実質GDP成長率予測の動態

最新のデータを更新の結果、CQM(支出サイド)は、10-12月期の実質GDP成長率を前期比+0.9%、同年率+3.8%と予測した。前回の予測(+3.6%)から小幅上方修正した。

国内需要は実質GDP成長率に対して前期比+0.4%ポイント、純輸出は同+0.6%ポイントの寄与度となった。11月の好調な貿易統計を反映し、純輸出の寄与度が高くなっている(図表5)。

図表5 成長率予測動態：実質GDP vs. 実質総需要



出所：筆者作成

一方、総需要(国内需要+輸出)ベースでは、実質総需要成長率を前期比年率+2.7%と予測した。また、最終需要1(GDP-在庫変動)は同+3.5%、最終需要2(GDP-在庫変動-純輸出)は同+1.2%と予測した。

10-12月期の国内需要を見れば、実質民間最終消費支出は前期比-0.1%減少する。実質民間住宅は同+4.4%増加、実質民間

企業設備は同+1.3%増加する。実質民間在庫変動は+1兆2,975億円増加する。実質政府最終消費支出は同+0.1%増加、実質公的固定資本形成は同-1.4%減少する。実質公的在庫変動は-297億円減少する。

財貨・サービスの実質輸出は前期比+2.3%増加、実質同輸入は同-0.9%減少する。結果、実質純輸出は+8兆2,794億円となる。

なお、今回の生産サイド(主成分分析モデル)は、10-12月期の実質GDP成長率を前期比年率+1.1%と予測。結果、両モデルの平均予測は同+2.4%である。なお12月の市場コンセンサスは同+0.84%と低めの予測である(図表1参照)。

4. 10-12月期インフレ予測の動態

インフレ動態をみると、内需では、10-12月期の民間最終消費支出デフレータを前期比+0.7%と予測。国内需要デフレータを同+0.6%と予測する。

外需では、財貨・サービスの輸出デフレータを前期比+3.8%、一方、同輸入デフレータを同+2.8%と予測する。このため交易条件は改善するため、ヘッドライン(GDPデフレータ)インフレ率を同+1.0%と予測する(図表2参照)。

また10-12月期の雇用者報酬を前期比+1.0%と予測。単位労働費用は同+0.1%となる(後掲予測詳細表2及び3参照)。

図表 6 12月発表の主要経済指標

12/26:

労働力調査: (11月)

就業者数: 6,851万人 (+5万人 前月差)

失業者数: 181万人 (-4万人 前月差)

失業率: 2.6% (0.0% ポイント 前月差)

一般職業紹介状況: (11月)

有効求人倍率: 1.18 (0.00 ポイント 前月差)

鉱工業指数: (2020年=100: 11月 速報)

生産: 102.0 (-2.6% 前月比)

出荷: 100.7 (-1.6% 前月比) 在庫: 97.3 (-3.0% 前月比)

商業動態統計: (11月 速報)

小売業: 13兆3,460億円 (+0.6% 前月比 +1.0% 前年比)

新設住宅着工: (11月):

住宅着戸数: 5万9,524戸 (-10.6% 前月比 -8.5% 前年比)

建築工事費予定額: 1兆2,742億円 (-11.0% 前月比 -6.2% 前年比)

建設工事費デフレータ: (2015年=100: 10月 前年比)

住宅: (129.8 +2.2%) 公共事業: (130.8 +2.3%)

最終需要・中間需要財物価指数: (2020年=100: 11月 前年比)

資本財: (114.6 +2.9%) 消費財: (124.8 +5.0%)

東京都区部消費者物価指数: (2020年=100: 12月)

コア: 111.1 (-0.2% 前月比 +2.3% 前年比)

12/24:

景気動向指数: (2020年=100: 10月 改訂 前月差)

先行: (109.8 +1.6) 一致: (115.9 +1.0) 遅行: (112.2 -0.1)

企業向けサービス価格指数: (2020年=100: 11月 前年比)

総合指数: (112.5 +2.7%)

12/23:

毎月勤労統計調査: (10月 確報、前年比)

現金給与総額: (299,801円 +2.5%)

総実労働時間: (140.3時間 +0.2%)

12/22:

情報サービス業売上高: 2兆8,346億円 (10月 前年比 +12.1%)

12/19:

全国消費者物価指数: (2020年=100: 11月)

コア: 112.5 (+0.3% 前月比 +3.0% 前年比)

12/17:

貿易統計: (通関ベース: 11月)

貿易収支: +3,223億円 (-15.0% 前月比 +4,430億円 前年差)

輸出: 9兆7,147億円 (+3.4% 前月比 +6.1% 前年比)

輸入: 9兆3,924億円 (+3.5% 前月比 +1.3% 前年比)

民間コア機械受注: 9,929億円 (10月 前月比 +7.0%)

建設総合統計: (10月)

民間建築: 非居住: (9,643億円 -0.8% 前年比)

公共工事: (2兆1,604億円 +0.3% 前年比)

12/15:

第3次産業活動指数: 105.8 (2019-20年=100: 10月 前月比 +0.9%)

公共工事前払金保証統計: (11月)

請負金額: (7,452億円 -6.8% 前年比)

請負件数: (1万4,548件 -11.0% 前年比)

12/12:

鉱工業指数: (2020年=100: 10月 確報)

生産: (104.7 +1.5% 前月比)

出荷: (102.3 +1.7% 前月比) 在庫: (100.3 +0.4% 前月比)

生産能力: (95.5 -2.0% 前年比) 稼働率: (105.6 +3.3% 前月比)

12/10:

国内企業物価指数: (2020年=100: 11月)

国内企業物価: 128.0 (+0.3% 前月比 +2.7% 前年比)

輸出物価: 144.6 (+2.0% 前月比 +2.4% 前年比)

輸入物価: 161.8 (+1.5% 前月比 -1.8% 前年比)

12/08:

毎月勤労統計調査: (10月 速報、前年比)

現金給与総額: (300,141円 +2.6%)

総実労働時間: (140.0時間 0.0%)

景気ウォッチャー調査: (11月、前月差)

現状判断 DI: (48.7 -0.4) 先行き判断 DI: (50.3 -2.8)

国際収支: (10月)

経常収支: 2兆8,335億円 (-43.0% 前月比 +15.5% 前年比)

輸出: 9兆6,570億円 (-3.1% 前月比 +2.8% 前年比)

輸入: 9兆5,586億円 (-0.5% 前月比 +0.1% 前年比)

12/05:

景気動向指数: (2020年=100: 10月 速報 前月差)

先行: (110.0 +1.8) 一致: (115.4 +0.5) 遅行: (112.6 +0.3)

家計調査報告: (10月 2人以上世帯:消費支出)

名目: (306,872円 -1.0% 前月比 +0.3% 前年比)

実質: (-3.5% 前月比 -3.0% 前年比)

総消費動向指数: 105.0 (2020年=100: 10月 前月比 -0.3%)

消費活動指標: 98.6 (2015年=100: 10月 前月比 0.0%)

12/02:

食料安定供給: (11月 +215億円 -25億円 前年差)

消費者態度指標: 37.5 (11月 前月差 +1.7)

12/01:

乗用車新車販売台数: (11月 307,466台 -7.0% 前年比)

各種公的統計から筆者作成。

図表 7 CQM(超短期)予測の動態

予測日	実質GDP		デフレータ		実質GDP		デフレータ		実質GDP		デフレータ	
	生産サイド 支出サイド (主成分分析 モデル)		GDP	PCE	生産サイド 支出サイド (主成分分 析モデル)		GDP	PCE	生産サイド 支出サイド (主成分分 析モデル)		GDP	PCE
	2025Q3				2025Q4				2026Q1			
	前期比年率(%)		前期比(%)		前期比年率(%)		前期比(%)		前期比年率(%)		前期比(%)	
5/19	0.4	0.4	0.4	0.3	0.2							
5/29	0.6	0.7	0.6	0.3	0.2							
6/02	-0.9	1.1	0.1	0.3	0.2							
6/09												
6/10	-1.1	1.0	-0.0	0.3	0.2							
8/18	-0.5	1.0	0.2	0.5	-0.0	1.6	-0.3	0.6	0.2	0.5		
8/25	-1.7	0.9	-0.4	0.5	0.1	1.5	-0.4	0.6	0.2	0.5		
9/01	-2.6	-0.9	-1.8	0.5	0.1	1.7	-0.5	0.6	0.2	0.5		
9/08												
9/09	-4.3	-1.0	-2.6	0.5	0.1	1.5	-0.6	0.5	0.2	0.5		
9/15	-4.2	0.5	-1.8	0.1	0.1	1.9	-0.3	0.8	0.0	0.5		
9/22	-3.9	0.4	-1.7	0.0	-0.1	1.8	-0.2	0.8	-0.1	0.4		
9/29	-3.8	0.2	-1.8	0.0	-0.1	1.7	-0.1	0.8	-0.1	0.4		
10/06	-4.3	-0.8	-2.6	0.1	-0.1	1.5	-0.3	0.6	-0.0	0.4		
10/13	-3.3	-1.3	-2.3	0.3	-0.1	1.5	-0.6	0.4	0.6	0.4		
10/20	-3.3	-1.7	-2.5	0.3	-0.1	1.4	-0.7	0.4	0.6	0.4		
10/27	-3.1	-1.9	-2.5	0.3	0.0	2.4	-0.6	0.9	0.7	0.5		
11/03	-2.8	-1.1	-1.9	0.2	0.0	3.1	0.5	1.8	0.6	0.5		
11/12	-2.7	-1.1	-1.9	0.2	0.0	3.1	0.5	1.8	0.6	0.5		
11/17	<u>-1.8</u>			<u>0.6</u>	<u>0.3</u>							
11/18						3.0	0.5	1.8	0.5	0.5	1.0	-0.0
11/24						2.0	0.3	1.2	0.4	0.5	0.9	0.1
12/01						2.5	1.2	1.8	0.4	0.5	1.0	-0.2
12/08	<u>-2.3*</u>			<u>0.5*</u>	<u>0.4*</u>							
12/09						1.5	0.9	1.2	0.5	0.6	1.3	-0.0
12/16						1.5	0.7	1.1	0.8	0.6	1.3	-0.1
12/22						3.6	2.9	3.2	0.9	0.7	2.4	-0.0
12/29						3.8	1.1	2.4	1.0	0.7	1.2	-0.5

注：下線の数値は 1 次速報。*印の数値は 2 次速報。データの改定時に季節調整は過去に遡ってかけられるので、過去の値(季節調整値)はそのたびに変化することに注意。

出所：筆者作成

予測詳細表1 実質国内総生産：10億円：2020年連鎖価格表示

	四半期					予測		暦年		年度	
	2025Q1	2025Q2	2025Q3	2025Q4	2026Q1	2024	2025	2024	2025		
国内総生産/国内総支出											
国内総支出	590,458.0	593,596.9	590,141.1	595,628.3	597,475.1	584,471.1	592,456.1	586,857.8	594,210.3		
民間最終消費支出	307,197.5	307,992.3	308,605.9	308,376.8	308,998.6	304,185.2	308,043.1	305,271.5	308,493.4		
民間住宅	23,137.8	23,236.6	21,333.2	22,280.5	22,575.0	23,004.2	22,497.0	23,056.6	22,356.3		
民間企業設備	104,817.7	106,216.9	106,010.8	107,414.9	107,250.0	104,105.0	106,115.1	104,571.9	106,723.2		
民間在庫変動	1,709.8	1,575.6	963.1	1,297.5	232.8	-554.9	1,386.5	97.7	1,017.3		
政府最終消費支出	121,221.0	121,629.4	121,825.4	121,906.6	122,410.8	120,917.6	121,645.6	121,489.3	121,943.0		
公的固定資本形成	27,654.2	27,665.3	27,373.5	26,985.9	26,967.3	27,594.3	27,419.7	27,686.6	27,248.0		
公的在庫変動	-33.0	-100.0	-31.1	-29.7	-37.1	-91.4	-48.4	-47.0	-49.5		
財貨・サービスの純輸出	5,192.1	5,827.9	4,943.9	8,279.4	9,961.4	5,750.4	6,060.8	5,329.3	7,253.1		
財貨・サービスの輸出	105,098.2	107,137.9	105,804.9	108,190.8	110,320.1	102,663.3	106,558.0	103,705.0	107,863.4		
財貨・サービスの輸入	99,906.2	101,310.1	100,861.1	99,911.4	100,358.7	96,912.8	100,497.2	98,375.5	100,610.3		
国民総所得	616,296.2	620,461.0	622,127.1	627,286.0	629,475.8	609,753.6	621,542.6	613,229.2	624,837.5		
参考											
国内総所得	579,952.2	586,508.1	583,735.6	590,164.2	591,899.6	574,748.7	586,322.6	577,486.1	588,149.7		
国内需要	585,581.9	588,057.6	585,695.9	587,847.6	588,012.5	578,666.9	586,795.7	581,774.3	587,403.4		
最終需要1(GDP-在庫増)	588,781.2	592,121.3	589,209.1	594,360.5	597,279.4	585,117.4	591,118.0	585,117.4	591,118.0		
最終需要2(GDP-在庫増-純輸出)	583,589.1	586,293.4	584,265.2	586,081.1	587,318.0	579,367.0	585,057.2	579,367.0	585,057.2		
総需要	690,364.2	694,907.0	691,002.2	695,539.7	697,833.8	681,383.9	692,953.3	685,233.3	694,820.6		

伸び率：前期比(%)、その他は注記。

国内総支出	0.4	0.5	-0.6	0.9	0.3						
前期比年率	1.5	2.1	-2.3	3.8	1.2						
前年同期比	1.6	1.9	0.7	1.3	1.2	-0.2	1.4	0.5	1.3		
民間最終消費支出	0.7	0.3	0.2	-0.1	0.2						
前年同期比	1.3	1.5	1.2	1.1	0.6	-0.6	1.3	0.2	1.1		
民間住宅	0.0	0.4	-8.2	4.4	1.3						
前年同期比	1.1	1.6	-7.5	-3.8	-2.4	-1.0	-2.2	-0.7	-3.0		
民間企業設備	0.2	1.3	-0.2	1.3	-0.2						
前年同期比	1.8	2.0	1.2	2.7	2.3	-0.1	1.9	0.9	2.1		
政府最終消費支出	-0.3	0.3	0.2	0.1	0.4						
前年同期比	1.9	0.0	0.3	0.3	1.0	1.6	0.6	2.3	0.4		
公的固定資本形成	-0.1	0.0	-1.1	-1.4	-0.1						
前年同期比	1.4	0.4	-1.7	-2.5	-2.5	-1.8	-0.6	0.1	-1.6		
財貨・サービスの輸出	-0.1	1.9	-1.2	2.3	2.0						
前年同期比	4.3	5.8	2.3	2.8	5.0	0.9	3.8	1.7	4.0		
財貨・サービスの輸入	2.4	1.4	-0.4	-0.9	0.4						
前年同期比	6.2	4.9	1.4	2.4	0.5	0.9	3.7	3.3	2.3		
国民総所得	0.5	0.7	0.3	0.8	0.3						
前期比年率	2.0	2.7	1.1	3.4	1.4						
前年同期比	2.3	1.8	1.5	2.3	2.1	0.6	1.9	1.1	1.9		
国内総所得	0.1	1.1	-0.5	1.1	0.3						
前期比年率	0.3	4.6	-1.9	4.5	1.2						
前年同期比	1.9	2.4	1.1	1.8	2.1	0.2	2.0	0.8	1.8		
最終需要1(GDP-在庫増)	-0.1	0.6	-0.5	0.9	0.5						
前期比年率	-0.5	2.3	-2.0	3.5	2.0						
前年同期比	1.2	1.5	0.7	0.8	1.4	-0.2	1.0	0.4	1.1		
最終需要2(GDP-在庫増-純輸出)	0.3	0.5	-0.3	0.3	0.2						
前期比年率	1.2	1.9	-1.4	1.2	0.8						
前年同期比	1.4	1.3	0.5	0.7	0.6	-0.2	1.0	0.6	0.8		
総需要	0.7	0.7	-0.6	0.7	0.3						
前期比年率	2.7	2.7	-2.2	2.7	1.3						
前年同期比	2.3	2.3	0.8	1.4	1.1	-0.1	1.7	0.9	1.4		
GDP成長率寄与度											
国内需要	0.9	0.4	-0.4	0.4	0.0	-0.2	1.4	0.8	1.0		
民間需要	1.0	0.4	-0.4	0.4	-0.1	-0.4	1.3	0.4	1.0		
公的需要	0.0	0.1	0.0	-0.1	0.1	0.2	0.1	0.5	0.0		
財貨・サービスの純輸出	-0.6	0.1	-0.2	0.6	0.3	0.0	0.0	-0.4	0.3		

注：実績値は内閣府『四半期別 GDP 速報 2025年7-9月期(2次速報値)』、シャドーはCQM予測値。

出所：筆者作成

予測詳細表2 名目国内総生産：10 億円

	四半期					予測		暦年		年度	
	2025Q1	2025Q2	2025Q3	2025Q4	2026Q1	2024	2025	2024	2025	2024	2025
国内総生産/国内総支出											
国内総支出	651,876.0	665,346.4	665,009.7	677,732.8	682,916.9	634,226.0	664,991.2	642,414.8	672,751.5		
民間最終消費支出	347,126.1	350,015.5	352,096.9	354,403.1	357,148.6	336,581.0	350,910.4	340,363.8	353,416.0		
民間住宅	27,987.2	28,319.9	26,170.1	27,673.6	27,994.2	27,249.0	27,537.7	27,563.3	27,539.5		
民間企業設備	120,765.5	122,873.5	123,761.9	126,229.8	126,693.7	117,611.9	123,407.7	119,186.6	124,889.7		
民間在庫変動	1,506.2	2,535.3	1,030.4	1,325.5	315.6	-694.3	1,599.3	56.4	1,301.7		
政府最終消費支出	129,801.9	130,875.1	131,594.5	132,278.2	132,839.6	127,760.9	131,137.4	129,100.3	131,896.8		
公的固定資本形成	32,334.4	32,616.1	32,438.6	31,831.0	31,645.8	31,540.5	32,305.0	32,018.1	32,132.9		
公的在庫変動	-46.8	-151.5	-39.0	-71.8	-77.8	-158.4	-77.3	-76.3	-85.0		
財貨・サービスの純輸出	-7,598.5	-1,737.5	-2,043.7	4,063.4	6,357.2	-5,664.4	-1,829.1	-5,797.1	1,659.9		
財貨・サービスの輸出	142,776.4	142,747.4	143,461.1	152,212.0	155,863.3	139,402.3	145,299.2	141,651.0	148,571.0		
財貨・サービスの輸入	150,375.0	144,484.9	145,504.8	148,148.6	149,506.1	145,066.7	147,128.3	147,448.2	146,911.1		
国民総所得	692,773.1	703,729.1	708,663.7	720,241.2	726,121.4	672,829.2	706,351.8	682,141.8	714,688.8		
参考											
最終需要1(GDP-在庫増)	650,416.6	662,962.6	664,018.3	676,479.1	682,679.1	635,078.7	663,469.2	642,434.7	671,534.8		
最終需要2(GDP-在庫増-純輸出)	658,015.1	664,700.1	666,062.0	672,415.7	676,321.9	640,743.1	665,298.3	648,231.8	669,874.9		
総需要	802,251.0	809,831.3	810,514.5	825,881.4	832,423.0	779,292.7	812,119.5	789,863.0	819,662.6		
雇用者報酬	318,022.5	321,993.3	323,987.0	327,331.6	327,697.1	311,662.9	322,833.6	314,173.2	325,252.3		

伸び率：前期比(%)、その他は注記。

国内総支出	0.9	2.1	-0.1	1.9	0.8						
前期比年率	3.5	8.5	-0.2	7.9	3.1						
前年同期比	5.3	5.3	4.1	4.9	4.8	3.0	4.9	3.7	4.7		
民間最終消費支出	1.8	0.8	0.6	0.7	0.8						
前年同期比	4.6	4.6	4.0	4.0	2.9	1.9	4.3	2.9	3.8		
民間住宅	1.2	1.2	-7.6	5.7	1.2						
前年同期比	4.8	4.2	-4.6	0.1	0.0	1.7	1.1	2.6	-0.1		
民間企業設備	1.1	1.7	0.7	2.0	0.4						
前年同期比	5.0	4.4	4.3	5.7	4.9	3.4	4.9	4.2	4.8		
政府最終消費支出	0.3	0.8	0.5	0.5	0.4						
前年同期比	4.8	1.9	2.1	2.2	2.3	3.2	2.6	4.6	2.2		
公的固定資本形成	0.8	0.9	-0.5	-1.9	-0.6						
前年同期比	5.9	3.0	1.5	-0.8	-2.1	1.8	2.4	3.8	0.4		
財貨・サービスの輸出	-0.2	0.0	0.5	6.1	2.4						
前年同期比	6.6	1.8	2.2	6.4	9.2	7.5	4.2	6.8	4.9		
財貨・サービスの輸入	4.0	-3.9	0.7	1.8	0.9						
前年同期比	6.6	-1.9	-1.4	2.5	-0.6	4.5	1.4	6.3	-0.4		
国民総所得	1.3	1.6	0.7	1.6	0.8						
前期比年率	5.3	6.5	2.8	6.7	3.3						
前年同期比	5.7	4.7	4.4	5.3	4.8	3.3	5.0	4.0	4.8		
参考											
最終需要1(GDP-在庫増)	0.4	1.9	0.2	1.9	0.9						
前期比年率	1.5	7.9	0.6	7.7	3.7						
前年同期比	0.0	4.8	4.0	4.4	5.0	3.0	4.5	3.6	4.5		
最終需要2(GDP-在庫増-純輸出)	1.3	1.0	0.2	1.0	0.6						
前期比年率	5.4	4.1	0.8	3.9	2.3						
前年同期比	4.8	3.9	3.2	3.5	2.8	2.4	3.8	3.5	3.3		
総需要	1.4	0.9	0.1	1.9	0.8						
前期比年率	5.9	3.8	0.3	7.8	3.2						
前年同期比	5.5	3.9	3.0	4.4	3.8	3.2	4.2	4.2	3.8		
雇用者報酬	0.6	1.2	0.6	1.0	0.1						
前年同期比	4.1	3.8	3.5	3.5	3.0	3.7	3.6	4.1	3.5		

注：実績値は内閣府『四半期別 GDP 速報 2025 年 7-9 月期(2 次速報値)』、シャドーは CQM 予測値。

出所：筆者作成

予測詳細表3 デフレータ：2015=100

	四半期		予測			暦年		年度	
	2025Q1	2025Q2	2025Q3	2025Q4	2026Q1	2024	2025	2024	2025
国内総生産/国内総支出									
国内総支出	110.4	112.1	112.7	113.8	114.3	108.5	112.2	109.5	113.2
国内需要	112.6	113.4	113.9	114.6	115.1	110.6	113.6	111.4	114.3
民間最終消費支出	113.0	113.6	114.1	114.9	115.6	110.6	113.9	111.5	114.6
民間住宅	121.0	121.9	122.7	124.2	124.0	118.4	122.4	119.5	123.2
民間企業設備	115.2	115.7	116.7	117.5	118.1	113.0	116.3	113.9	117.0
政府最終消費支出	107.1	107.6	108.0	108.5	108.5	105.6	107.8	106.3	108.2
公的固定資本形成	116.9	117.9	118.5	118.0	117.4	114.3	117.8	115.6	117.9
財貨・サービスの輸出	135.9	133.2	135.6	140.7	141.3	135.8	136.3	136.6	137.7
財貨・サービスの輸入	150.5	142.6	144.3	148.3	149.0	149.7	146.4	149.9	146.0
ユニット・プロフィット	114.8	117.5	117.3	119.5	120.7	112.1	117.3	113.6	118.8
単位労働費用	106.2	107.0	108.2	108.4	108.1	105.1	107.4	105.4	107.8
伸び率：上段：前期比(%) 下段：前年同期比(%)									
国内総支出	0.5	1.5	0.5	1.0	0.5	3.2	3.5	3.2	3.4
	3.6	3.3	3.4	3.6	3.5				
国内需要	0.8	0.7	0.4	0.6	0.4				
	3.2	2.6	2.7	2.6	2.2	2.6	2.8	2.8	2.5
民間最終消費支出	1.1	0.6	0.4	0.7	0.6				
	3.2	3.0	2.8	2.8	2.3	2.6	3.0	2.7	2.8
民間住宅	1.3	0.8	0.7	1.3	-0.2				
	3.7	2.6	3.1	4.0	2.5	2.8	3.4	3.3	3.1
民間企業設備	0.9	0.4	0.9	0.7	0.5				
	3.2	2.4	3.1	2.9	2.5	3.5	2.9	3.3	2.7
政府最終消費支出	0.6	0.5	0.4	0.5	0.0				
	2.9	1.9	1.8	1.9	1.4	1.6	2.1	2.2	1.8
公的固定資本形成	0.9	0.8	0.5	-0.5	-0.5				
	4.4	2.6	3.2	1.8	0.4	3.6	3.0	3.8	2.1
財貨・サービスの輸出	-0.1	-1.9	1.8	3.8	0.4				
	2.2	-3.9	-0.1	3.5	4.0	6.6	0.4	5.1	0.8
財貨・サービスの輸入	1.6	-5.3	1.2	2.8	0.5				
	0.4	-6.5	-2.8	0.1	-1.0	3.6	-2.2	3.0	-2.6
ユニット・プロフィット	0.0	2.3	-0.1	1.8	1.1				
	0.0	4.7	3.9	4.8	5.2	2.5	4.6	2.8	4.6
単位労働費用	0.0	0.7	1.2	0.1	-0.2				
	0.0	1.9	2.8	2.2	1.8	3.9	2.2	3.6	2.2

注：実績値は内閣府『四半期別 GDP 速報 2025年 7-9月期(2次速報値)』、シャドーは CQM 予測値。

出所：筆者作成